

1. はじめに

MED64 Offline Toolkit は MED64 システム制御ソフトウェア「Mobius」のオフライン解析機能を補足するコンセプトで企画・設計されたソフトウェアです。Mobius で出力可能な固有形式のファイルを入力とし、種類の異なる複数の解析ツールから構成されています。解析ツールはユーザーからの要望や意見を反映して新規追加やアップデートを継続して行っており、弊社ウェブサイトより最新版をダウンロードできます。

コンピューターの推奨動作環境は以下の通りです。

OS	: Windows 10 64 ビット版 (32 ビット版には対応していません。)
CPU	: Intel Core i7 と同等かそれ以上
メモリ	: 8 GB
空き容量	: 64 MB
ディスプレイ	: 1280 x 1024 以上

2. インストール

Mobius Offline Toolkit をインストール済の場合は①から、それ以外の場合は③から実施します。

①activation ファイルを以下のフォルダーからデスクトップ等に移します。

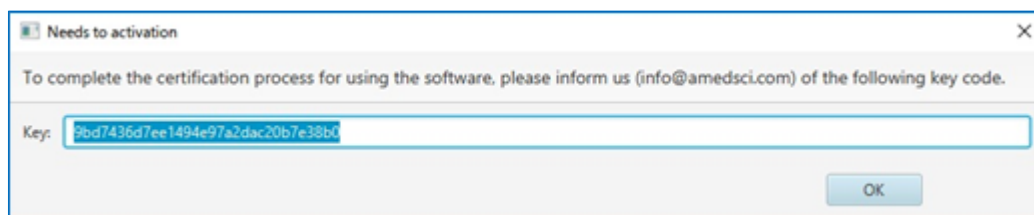
C:/ユーザー/ユーザー名/AppData/Local/Mobius Offline Toolkit/app



AppData は隠しファイルのため、フォルダー設定の表示タブ「隠しファイル」にチェックを入れて表示しなければなりません。

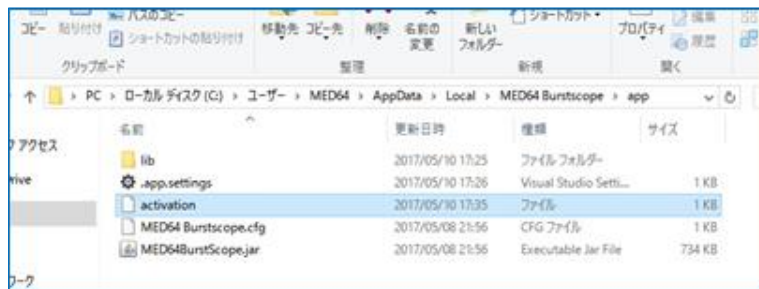
②コントロールパネルのプログラムと機能より、Mobius Offline Toolkit を選択してアンインストール後、「C:/ユーザー/ユーザー名/AppData/Local/」に存在する Mobius Offline Toolkit フォルダーを削除します。

③MED64 Offline Toolkit インストーラーをダブルクリックしてインストールします。有償ツールを使用する場合はアクティベーションが必要になります。次節「3. 起動」②で有償ツールを選択して起動するとポップアップウィンドウが現れ、PC に固有の Key ID が表示されます。MED64 Offline Toolkit ライセンス購入済、Mobius Spike Sorter または QT パッケージ購入済の場合、Key ID を弊社までお知らせください。適合する activation ファイルを送付いたします。なお、無償ツールはアクティベーションせずにそのまま使用できます。



④上記①で退避させた activation ファイルを C ドライブ以下の下記のフォルダー内に移します。

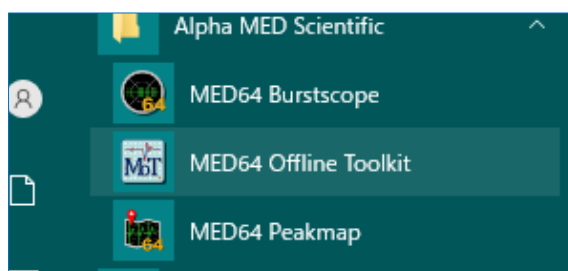
C:/ユーザー/ユーザー名/AppData/Local/Mobius Offline Toolkit/app



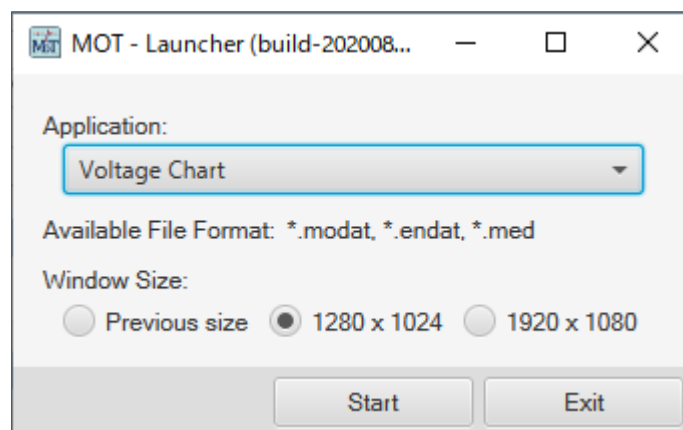
電子メールの添付ファイルとして activation ファイルを送信すると、activation.dat という拡張子が付いた名前のファイルになります。そのままではアクティベーションできませんので、拡張子 .dat を削除して移動させてください。

3. 起動

①MOT はスタートメニューの“AlphaMED Scientific”フォルダーから“Mobius Offline Toolkit”を選択することで起動します。



②起動すると収録ツールを選択するランチャーが起動します。収録ツールのウィンドウサイズを指定し、Start をクリックして呼び出します。複数の収録ツールを同時に呼び出すことも可能です。終了する場合は Exit をクリックします。



4. ラストワンメモリー設計

MOT はその終了時に各種のプルダウンメニューやテキストボックス等に設定した項目を保存し、次回起動時に呼び出すように設計されています。

5. 使用メモリの割り当て変更

MOT は初期設定で最大 6GB のメモリを使用するように設定されています (8GB の PC を想定し、2GB は他の処理のために空けています)。十分なメモリサイズの PC をご使用の場合、その上限を増やして、処理速度の向上を図ることが可能です。

C:/ユーザー/ユーザー名/AppData/Local/Mobius Offline Toolkit/app

にある MED64 Burstslope.cfg をテキストエディターで開き

```
[JVMOptions]
-Xmx6000m
```

を修正後 (例: 6→16GB の場合、Xmx6000m→Xmx16000m)、保存して使用メモリを変更します。